

公益社団法人全国学校図書館協議会
平成 23 年度事業報告

☆印＝新規事業

1 学校図書館及び青少年の読書の振興のための活動の普及、啓発

23 年度は、学校図書館及び青少年の読書の振興のための活動の普及・啓発について、以下の事業を実施した。

(1) 学校図書館担当職員のためのスキルアップ及びリカレント教育の実施

学校図書館の機能を充実させるため、現に学校図書館の業務に携わっている司書教諭や学校司書等を対象にした研修会の開催。

(2) 第 13 回「学校図書館セミナー」の開催

第 13 回図書館総合展において、学校図書館の今日的な課題を取りあげての研修。

(3) 学校図書館向き図書の選定及び選定図書への件名付与の実施

小・中・高等学校図書館向き図書の選定事業を継続して実施する。また、選定図書への件名付与の実施。

☆(4) 読書会の普及

学校における読書会の振興、普及を図るために、読書会に関する指導者を養成する講習会を全国 5 地域で開催した。

(5) 第 44 回「夏休みの本」(緑陰図書)の選定

全国 S L A 委嘱の特別選定委員会により、夏休みの間にぜひ読んでほしい本を厳選し、「夏休みの本」(緑陰図書)として発表(小・中・高校向き 40 点)。

(6) 学校図書館図書整備協会(S L B A)の図書の選定

S L B A(学校図書館向け図書の共同購入組織)の委嘱を受け、S L B A 用図書を選定した。

(7) 第 57 回青少年読書感想文全国コンクールの実施

青少年読書感想文全国コンクール(毎日新聞社と共催)を実施した。

(8) 第 23 回読書感想画中央コンクールの実施

読書感想画中央コンクール(毎日新聞社と共催)を北海道、山口県・九州地区を除く 37 都府県で実施した。

(9) 学校図書館賞の授賞

第 41 回学校図書館賞(運動、論文、実践の 3 部門構成)は、学校図書館賞に杉本洋氏・松村真一郎氏・稲井達也氏の 3 名、学校図書館奨励賞に中野区立中学校学校図書館指導員のグループ選考し、2011 年 6 月 11 日に学士会館で表彰式を開催した。引き続いて第 42 回学校図書館賞の募集を行った。

(10) 第 13 回学校図書館出版賞の授賞

学校図書館向き図書の優良な出版企画として、株式会社小峰書店『身近な地名で知る日本』(全 6 巻)、株式会社岩崎書店『子ども・平和・未来 21 世紀の紛争』(全 5 巻)の刊行に対し出版社を表彰した。

(11) 第 17 回日本絵本賞の授賞

「日本絵本賞」「日本絵本賞読者賞」(毎日新聞社と共催)の授賞を行った。大賞は、『もりのおくのおちゃかいへ』みやこしあきこ/著、偕成社。絵本賞は、『きつね、きつね、きつねがとおる』伊藤遊/作、岡本順/絵、ポプラ社。『へちまのへーたろー』二宮由紀子/

作、スドウピウ／絵、教育画劇。翻訳絵本賞は、『どうぶつがすき』パトリック・マクドネル／さく、なかがわちひろ／やく、あすなろ書房。読者賞は、『ぼくのトイレ』鈴木のりたけ／作・絵、PHP 研究所。3月23日に毎日ホールで表彰式を行った。

(12) 第35回「絵本週間」の実施

絵本読書の定着を目的とする「絵本週間」を2012年3月27日から4月9日まで実施した。

☆ (13) 学校図書館アドバイザー(仮称)制度の創設

全国S L A学校図書館アドバイザー(仮称)制度を設け、アドバイザーの指導・助言により各地域や各校の学校図書館の活性化を図った。正式名称を全国S L A学校図書館スーパーバイザーとした

(14) 全国S L A学校図書館活動推進委員会の活動の展開

各県S L Aの元役員や学校図書館の研究・運動に実績のある退職教員等で構成する学校図書館活動推進委員会を拡充し、全国S L A及び各県S L Aの活動の強化を図った。

2 学校図書館及び青少年の読書に関する調査研究

23年度は、学校図書館及び青少年の読書に関する調査研究について、以下の事業を実施した。

(1) 「学校図書館基準」の作成・普及

学校図書館の経営・運営、担当者、学校図書館メディア、施設・設備等の標準を定める「学校図書館基準」を作成し、その普及により学校図書館の質的向上と活性化を図った。

(2) 第57回学校読書調査の実施

青少年の読書推進や読書環境整備等に資するため、全国から抽出した小・中・高校生約12,000人を対象に、読んだ本の量、読んだ本の題名、読書生活などの実態調査(6月・毎日新聞社と共催)を実施した。調査結果は、機関誌『学校図書館』11月号で公表した。

(3) 平成23年度学校図書館調査の実施

学校図書館の整備充実を図るため、小・中・高等学校を対象として学校図書館の蔵書、予算、職員、運営等の実態調査(6月・全国の小・中・高等学校から3%を無作為抽出)を実施した。調査結果は、機関誌『学校図書館』11月号で公表した。

(4) 市区町村における学校図書館図書整備費予算化の実態調査の実施

全国の市区町村教育委員会に対して、平成23年度の学校図書館図書整備費200億円を予算化するよう要請するとともに、各自治体に対する予算化状況のアンケート(学校図書館整備推進会議と共催)を実施した。

☆ (5) 地区学校図書館研究大会の開催

隔年で開催している地区学校図書館研究大会を次の8地区で実施した。

第39回北海道学校図書館研究大会	9月9日・10日	十勝市
第35回東北地区学校図書館研究大会	10月27日・28日	福島市(震災の為中止)
第31回関東地区学校図書館研究大会	8月4日・5日	川崎市
第26回北信越地区学校図書館研究大会	8月18日・19日	三条市
第35回東海地区学校図書館研究大会	8月4日・5日	大垣市
第42回近畿学校図書館研究大会	8月4日・5日	守山市
第27回中国地区学校図書館研究大会	11月10日・11日	東広島市・呉市
第25回四国地区学校図書館研究大会	10月27日・28日	宇多津町
第35回九州地区学校図書館研究大会	8月11日・12日	久留米市

☆ (6) 第 17 回学校図書館夏期セミナーの開催

第 38 回全国学校図書館研究大会(鳥取大会)を開催する米子市において、8 月 4 日・5 日に学校図書館夏期セミナーを開催した。

☆ (7) 学校図書館関係科目担当大学教員研究会の開催

大学において学校図書館関係科目及び司書教諭講習を担当する大学教員を対象に 9 月 15 日(木)・16 日(金)に学校図書館センターにおいて研究会を開催した。

☆ (8) 国内学校図書館研究視察の実施

8 月 9 日・10 日に、京都・大阪地区周辺の優良な学校図書館を視察する国内学校図書館研究視察を開催した。

☆ (9) 海外学校図書館研究視察の実施

平成 24 年 1 月 2 日(月)から 8 日(日)にフランスの学校図書館を視察する海外学校図書館研究視察を実施した。

3 各都道府県学校図書館研究団体の活動の推進

23 年度は、各都道府県学校図書館研究団体(以下、「各県 S L A」という)の活動の推進について、以下の事業を実施した。

(1) 各県 S L A 事務局長会議の開催

全国 S L A の事業、組織、活動について連絡調整を図るため各県 S L A 事務局長会議を 2012 年 2 月 2 日に学校図書館センターで開催した。

(2) 全国 S L A と各県 S L A との研修会等の実施

各県の学校図書館整備を進め、司書教諭、学校司書の専門性を高めるために、各県 S L A と共催で研修会、サポート講座講座等を開催した。

(3) 機関誌『学校図書館』及び『学校図書館速報版』の活用と普及

学校図書館に関する研究を深めるため、学校図書館活動推進委員や各県 S L A の協力を得て、機関誌『学校図書館』及び『学校図書館速報版』の活用と普及活動を行った。

(4) 各県 S L A ホームページの作成

各県 S L A の情報提供、研究会・研修会の募集など各県 S L A 組織内の連絡等に利用するために、全国 S L A のホームページ上に各県 S L A のホームページを開設した。

(5) 『各県交換情報』の作成と活用

各県 S L A の組織や活動等について『各県交換情報』を作成してホームページに掲載し、その活用を図った。

(6) 各県 S L A 組織訪問の実施

全国 S L A と各県 S L A の連携を強化するため、全国 S L A の役員等が各県 S L A を訪問し、組織運営や研究活動等について情報交換を行った。

☆ (7) 全国 S L A 研究協力員の委嘱

全国 S L A が行う研究活動に加わり、また研究成果の普及を行う「全国 S L A 研究協力員」に各県 S L A から研究、実践に熱心な教職員の推薦を受け、委嘱する予定であったが実現できなかった。

(8) 各県 S L A への研究助成

各県 S L A の研究活動を支援するために研究助成を行った。

4 学校図書館及び青少年の読書に関する出版物の刊行

23年度は、学校図書館及び青少年の読書に関する出版物の刊行について、以下の図書及び雑誌を出版した。

- (1) 機関誌『学校図書館』及び『学校図書館速報版』の刊行
機関誌『学校図書館』及び『学校図書館速報版』を刊行した。『学校図書館』は、学校図書館や青少年の読書に関する実践や研究論文等を掲載。『学校図書館速報版』は、学校図書館や読書に関する最新ニュース、学校図書館メディアに関する情報等を掲載した。
- (2) 写真ニュース『としょかん通信』の刊行
学校図書館や読書に関する情報及び学校図書館の利用に役立つ情報を掲示用写真ニュースとして、月刊『としょかん通信』（小学生版・中高校生版の2種）を刊行した。
- ☆ (3) 『学校図書館必携』（仮称）の刊行
学校図書館担当者に必要な資料をコンパクトにまとめた『学校図書館必携』を刊行した。
- (4) 『学校図書館基本図書目録2012年版』の刊行
小・中・高等学校の図書館に基本的に備えたい図書を選定し、『学校図書館基本図書目録』として、1年間の選定図書から厳選して刊行した。
- (5) 『新しい教育をつくる司書教諭のしごとシリーズ』の刊行
司書教諭になった方のための、また学校図書館の活動をより深めたいと思っている方のための実務シリーズを刊行する予定であったが、刊行には至らなかった。
- (6) 『集団読書テキスト』の改訂と新刊の刊行
読書会や朝の一斉読書等のためのテキストとして『集団読書テキスト』を小学校向き2点、中・高向き2点を刊行した。現在、小学校向き36点、中・高校向き57点。
- (7) 『学校図書館入門シリーズ』の刊行
学校図書館の基本的な仕事の意義や具体的な手順を解説したシリーズ。既刊15点に続けて新刊を引き続き刊行する予定である。
- ☆ (8) 『西欧学校図書館研究視察報告』（仮題）の刊行
先進諸国の学校図書館実践事例を広く普及するため、全国SLAが1月に実施したフランス学校図書館視察の報告書を作成した。2012年6月中に刊行する予定である。

5 その他この法人の目的を達成するために必要な事業

23年度は、その他この法人の目的を達成するために必要な事業として、以下の事業を実施した。

- (1) 学校図書館講演会の開催
特別会員を招き、教育や学校図書館、情報メディアなどに関する講演会を2012年3月8日に開催した。
- ☆ (2) 2016年の学校図書館国際大会の準備
2016年開催予定の学校図書館国際大会の準備を進めるための準備委員会を設けた。
- (3) 公益社団法人への移行
公益法人制度の変更により、新たな公益社団法人化に向けて、申請を行った。
- (4) 学校図書館研究資料室の整備充実
学校図書館に関する基本的な資料の整備充実を図っている。